

「J-COLORシステム」で印刷業界の活性化に貢献

相互(京)でプライベート展示会を開催

刷り出し25枚の早さ実演

アイマー・プランニング(株)本社(京都伏見区、知識三富社長)は9月13日、インキラボ周辺の完全自動化を実現する「J-COLORシステム」をフルスケールで実演する「相互(京)プライベート展示会」を開催。全国から約85名が参加した。初めてのプライベート展示会となる今回はセミナーと実演、懇親会の3本立てで開催。セミナーでは、(株)金羊社の林兼明顧問が「印刷の品質改善 水を絞る」をテーマに講演したほか、(株)相互の佐野誠取締役・宗廣達勇管理部長が「システム導入の経緯や成果」を報告した。また、実演では製版データ通り刷り出し25枚を実現、編重と極小絵柄の構成にて面内基準濃度確保、自動補正のスキルレス印刷のデモンストラーションが披露され、同システム導入の成果に注目が集まった。

アイマー・プランニング

プライベート展示会の開催に先立ち、挨拶したアイマー・プランニングの知識社長は、多数の参加とユーザー企業である相互の協力の感謝の意を述べた上で、「システム



知識 社長

を開いていただくことが重要であると考えたい」と述べ、初めてとなるプライベート展示会の開催経緯について説明した。そして、「J-COLORシステムは印刷の自動化や省力化、高品質化、スキルレス化などに



北條 社長

貢献するシステムである。当社はこのシステムを提供することで、印刷業界の活性化と利益創出に貢献してきたい。当社は製版業界においては、システムへの納入実績で国内ナンバーワンのシェアを獲得しており、海



満席となったセミナー会場

外にも事業展開しているが、今後は当社のシステムを紙媒体の印刷業界へも強力に推進していきたい。今日は、「観て・聴いて・感じて・納得する」をテーマに講演と実演、懇親会を開催することと述べ、長時間になるが最後までお付き合いいただきたいと続けた。

このあと、相互の佐野誠取締役は「J-COLORシステム」の導入経緯について、「IGAS 2015の視察で初めてアイマー・プランニングという会社を知った。会社を調べてみると、印刷業界における実績に

信頼感を持った」と、アイマー・プランニングとの出会いについて振り返った上で、「デジタル印刷の今後の展開など、印刷業界の将来が見えにくく、導入後10〜15年の印刷機であっても新旧同様に再生できる(スキャン)に非常に興味を持った。まだ設置して1カ月程度だが、実際にこのシステムに刷り出しを行えるかを実演で確認していただきたい。今後、J-COLORシステムを当社の武器にしていきたい」とその導入成果に自信を示した。

また、宗廣達勇管理部長は、具体的な導入成果として「マラソンの悪い絵柄でも、標準的な刷り出し枚数で基準濃度に到達するため、絵柄によらずスケジュールが狂うようなこともない。また刷り出しが早いので、小ロットに強くなる。インキラボの完全自動洗浄システムによる洗浄の省力化、インキ自動供給システムによる作業の省力化にもつながっている」と効率化と小ロット対応のメリットを述べた。



次に、「11月に100ジョブの印刷を行う場合、1ジョブの準備時間を5分短く(50分)500分(8・3時間)の短縮、1年で約1000時間の短縮につながる。

時間コストは企業により異なるが、例えば時間コスト1万円の場合、1ジョブ5分間の短縮で1年間100万円の削減になり、1ジョブ10分間の短縮だと1年間

減にもつながり、自動化によりオペレーターの労務費も削減できる。余った時間を他の仕事に有効活用できるなど様々な効果が期待できる」と、時間コストの大幅な削減効果も期待できると強調した。

このあと、アイマー・プランニングの矢島順司営業課長が今回の実演の見どころとして、「(1)刷り出し25枚の早さを実演(ゼロ点調整不要/ツボ隙間固定/キリ渋り一切なし)(2)極小絵柄でも濃度安定(隙間調整では不可能なインキ量ゼロが可能)(3)偏重絵柄でも面内ムラなし(必要な箇所に必要なインキのみを補給)(4)インキラボ清掃/インキ交換までが全自動(特色インキ交換を完全自動)の4点について解説した。

同社では、約15年前に導入した小森コポレーションの菊全判4色印刷機にIPC(インキ供給量を独自の呼び出しローラーで自動制御)/AR(製版データより絵柄面積率を自動算出)/AFP C(インキラボ洗浄を完全自動化)/ACC(インキ自動供給システム)からなる「J-COLORシステム」をフルスケールで整備している。約15分間の実演では、インキに東洋インキTR

NEXPRMZ(油性、印刷用紙に日本製紙オーロラコート菊76・5kg、テノン社の濃度計を使用し、目標濃度をBk:1・75、C:1・57、M:1・54、Y:1・33に定め、ローラーにインキのない初回インキ巻からスタート。25枚目の濃度測定で、データノットで目標濃度に到達したことを確認し、1000枚を連続印刷。100枚目の濃度測定でベタ濃度測定/濃度フィードバック、インキラボ洗浄は溶剤をエスを一切使用せず約3分間で自動洗浄の実演を行った。実演が行われた後は、質疑応答の時間が設けられ、参加者からは様々な質問が投げかけられた。また、閉会後は倉場ホテル(東区)で懇親会も催され、参加者相互の親睦を深めた。



実演のモニターに注目する参加者



刷り出しの早さをその目で確認した

また、宗廣達勇管理部長は、具体的な導入成果として「マラソンの悪い絵柄でも、標準的な刷り出し枚数で基準濃度に到達するため、絵柄によらずスケジュールが狂うようなこともない。また刷り出しが早いので、小ロットに強くなる。インキラボの完全自動洗浄システムによる洗浄の省力化、インキ自動供給システムによる作業の省力化にもつながっている」と効率化と小ロット対応のメリットを述べた。

常に安定した刷り出し30枚

経営者も納得。

製版CIP3データ通りの色再現が確実に。
編重した絵柄構成も一律に色濃度再現かつ誰でも操作が可能な
アイマー・プランニングのIPCシステム(インキ・プリセット・コントロール・システム)。

プライベート展示会開催!!

生産効率アップ!
経費削減!
スキルレス!

アイマー・プランニングの全システムを枚葉4色印刷機に搭載し、印刷実演&セミナーで導入効果をご紹介します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

■とき/2016年11月9日(水)
■ところ/アイマー・プランニング本社(下記)
<お問い合わせ>アイマー・プランニング(株) TEL.075-603-3878



アイマー・プランニング株式会社

本社/〒612-8384 京都市伏見区下鳥羽浄春ヶ前町112番地
TEL.075-603-3878 FAX.075-603-3877

アイマー IPC

検索

《E-mail》sec@imer.jp

《URL》http://www.imer.jp

